

科目名		ネットワーク技術概論(Introduction to Network Processing)							
学年	学科(コース)	単位数		必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第5学年	経営情報学科	履修	1単位	選択	演習	前期 90分/週	30時間		
担当教員		【常勤】内田 保雄							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	いまやコンピュータとネットワークは切っても切れない関係となっている。また、パソコンの高性能化と低価格化により、小規模事業者や個人レベルでもサーバを構築することが可能となり、そのための技術が求められるようになってきた。そこで、コンピュータシステムへの各種ソフトウェアのインストール法、ネットワーク設定法、クライアント/サーバシステムの構築技法を修得することを目的とする。 ネットワーク技術の概要を理解し、OS(Linux)のインストールができ、基本的なクライアント/サーバシステムが構築できるようになるのが到達レベルである。								
学習・教育目標	(D)①	JABEE基準1(2)			(d)-(3)				
関連科目, 教科書および補助教材									
関連科目	情報システム論、データベース論								
教科書	「基礎からのCentOS 6」内田保雄著 (工学社)								
補助教材等	Webで補足資料を提示する。								
達成度評価 (%)									
評価方法	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
指標と評価割合									
総合評価割合	50	50							100
知識の基本的な理解 【知識の基本的な理解】	◎	◎							/
思考・推論・創造への適用力 【適用、分析レベル】	○	○							
汎用的技能 【 】									
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と創造的思考力 【 】									
学習上の留意点および学習上の助言									
情報システム全般、データベースの知識が必要である。 重要な事項について練習問題を課す。練習問題を解いて実装することで、自身の理解度を把握する。 手順を丸暗記するのではなく、処理の仕組みを理解することが重要である。 使用するオペレーティングシステムのリファレンスマニュアルを読み解くことが理解の手助けとなる。									

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス OSとネットワークの意義	・シラバスから学習の意義、授業の進め方、評価方法を理解できる。 ・OSとネットワークの関わりと意義について理解できる。	第1回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
2	OSの概念と役割	・OSの概念と役割について理解し、図示して説明できる。	第2回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
3	Linux	・Linuxについて理解し、説明できる。	第3回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
4	Linuxのインストール	・Linuxのインストール手順について理解し、実行できる。	第4回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
5	UNIXのコマンド	・UNIXの代表的なコマンドを理解し、使用できる。	第5回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
6	環境設定	・環境設定の基礎を理解し、設定できる。	第6回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
7	パッケージ管理	・パッケージ管理の仕組みを理解し、利用できる。	第1回～第7回で取り上げた内容の復習を行ない、試験に備える。
8	中間試験		
9	試験返却・解答解説 ユーザ管理	・試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。 ・ユーザ管理の概要を理解し、実行できる。	第9回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
10	X Window System	・X Window Systemの概要を理解し、操作できる。	第10回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
11	日本語の利用	・日本語の利用のための仕組みを理解し、利用できる。	第11回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
12	TCP/IP、ネットワーク設定	・TCP/IP、ネットワーク設定について理解し、説明できる。	第12回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
13	Webサーバ	・Webサーバの役割と仕組みについて理解し、構築できる。	第13回で取り上げた内容の復習を行ない、次の演習に備える。
14	SSHサーバ、FTPサーバ	・SSHサーバ、FTPサーバなどについて理解し、説明できる。	第1回～第14回で取り上げた内容の復習を行ない、試験に備える。
	期末試験		
15	答案返却・解答解説 全体の学習事項のまとめ 授業改善アンケートの実施	・試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。	
総授業時間数			30 時間